

第9期計画期間において取り組むべき地域課題（案）

資料6-1

地域課題	課題把握		課題を把握した地域
	個別地域ケア会議	地域連絡会	
地域課題の設定理由			東部 西部 中部 南部 北部
第8期から継続性等			
<p>地域における見守り及び生活支援の仕組みづくり （第8期計画より更新）</p>	①認知症関連	③地域における見守りの仕組みづくり	
<p>1 個別ケア会議では、認知症の方への見守りや軽微な内容の生活支援を必要としているケースや地域での認知症理解を深めることが必要とされるケースが多く見られ、地域連絡会においても、認知症高齢者を中心に地域で見守ることに必要が多く挙げられた。</p> <p>第8期計画中の「認知症関連」、「移送関連」、「地域における見守りの仕組みづくり」の一部又は全部の内容を継承する項目として設定。 認知症関連：見守りや生活支援の対象として整理。移送関連：第8期中（正しくは第7期中のR2.12：後日修正・訂正）にAバスが拡大するなどした一方、高齢者が求める個別的で利便性の高い移送手段の創設が現実的ではないとの判断から、移送手段に頼らない生活支援の充実として考えを継承。地域における見守りの仕組みづくり：継続</p>			
<p>相談窓口の利用促進 （第8期計画より更新）</p>		④相談窓口の充実	東部 西部 中部 南部 北部
<p>2 地域連絡会において、地域で困りごとを抱える高齢者が孤立してしまうケースがあるということが多く挙げられた。</p> <p>第8期計画中の「相談窓口の充実」の一部の内容を継承する項目として設定。 高齢者の相談窓口として、市役所介護福祉課、地域包括支援センター5カ所、認知症初期相談窓口（介護福祉課内）、生活支援コーディネーター（社会福祉協議会）が主に存在しており、相談窓口の増設ではなく、利用促進を主眼に取り組むべきと整理した。</p>			
<p>多職種連携の仕組みの構築 （第8期計画より継続）</p>	⑦医療関連		
<p>3 個別ケア会議で、認知症を含む様々な疾病や状態像により支援を必要とする方やその家族に対し、医療的な相談や対応を必要とするケースが多く挙げられた。</p> <p>第8期計画中の「多職種連携の仕組みの構築」を継続。 様々な状態像の高齢者を支えるため、医療、介護のみならず様々な職種の連携が必要。</p>			東部 西部 中部 南部 北部

地域課題	課題把握		課題を把握した地域
	個別地域ケア会議	地域連絡会	
地域課題の設定理由			西部 中部 南部 北部
第8期から継続性等			
4	活動の場の充実 (第8期計画より継続)	③活躍の場の充実	
	個別ケア会議で、認知症の方を含めた高齢者が、社会的な役割を持つなど活動することとして、活躍の場が必要とされるケースが多く挙げられた。。		
	第8期計画中の「活動の場の充実」を継続。 高齢者の多様なニーズを捉えた活動の場の充実、活動により介護予防を促進することが必要。		
5	介護者支援 (新規)	⑧介護者支援	南部
	個別ケア会議で、特に認知症高齢者の家族に対する支援の必要性が多く挙げられた。		
	第9期から新規。 認知症高齢者の家族等に対する支援を推進することにより、被介護者と介護者のそれぞれのQOLを向上させることが必要。		